

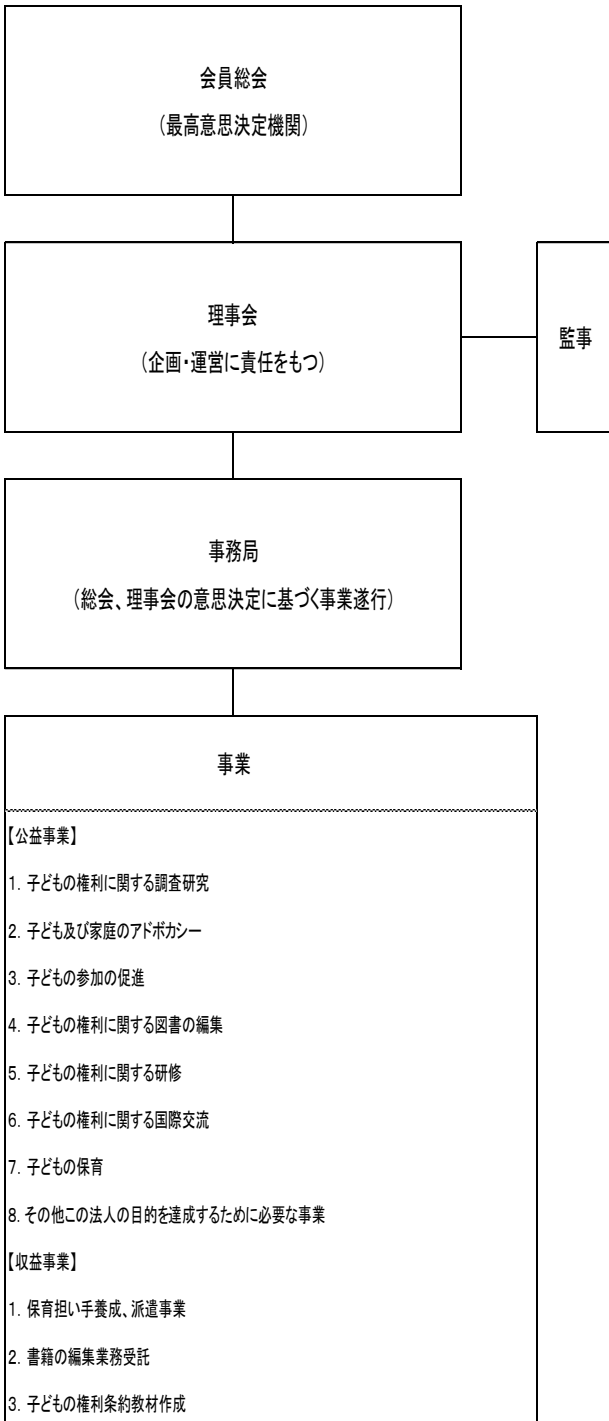
# 公益社団法人子ども情報研究センター2015年度事業報告

## I 組織・運営

### 1. 公益社団法人としての体制

#### (1) 組織

公益社団法人子ども情報研究センター組織図



#### (2) 事業の構成

事業実施の目的は、子どもの権利（「児童の権利に関する条約」に規定する子どもの権利）に関する調査研究、各種支援、広報等をおこなうことにより、子どもの権利の擁護、子どもの最善の利益に寄与することとする。

##### 1. 子どもの権利に関する調査研究

- (1) 独立子どもアドボカシー研究プロジェクト
- (2) 「子ども家庭相談室相談員研修プログラム」開発プロジェクト

##### 2. 子ども及び家庭のアドボカシー

- (1) ファミリー子育て何でもダイヤル
- (2) チャイルドライン OSAKA
- (3) 子ども家庭相談室
- (4) 大阪府教育委員会「24 時間電話相談」に係る夜間・休日等の教育相談
- (5) 大阪市地域子育て支援拠点事業（ひろば型）
- (6) 大阪府子ども家庭サポーター協議会
- (7) 講座付き保育体験事業

##### 3. 子どもの参加の促進

- (1) ティーンズメッセージ from はらっぱ編集
- (2) 「きみの声で楽校をつくろう！」プロジェクト
- (3) 子どもの権利条約フォーラムへの参加

##### 4. 子どもの権利に関する図書の編集

- (1) 『はらっぱ』編集
- (2) 書籍の編集・発行
- (3) 年次報告書編集

##### 5. 子どもの権利に関する研修

- (1) 人権保育教育連続講座
- (2) 共同子育て連絡会
- (3) テーマ別研究部会
- (4) 大阪市子ども家庭支援員研修
- (5) 子どもとあそびのネットワーク
- (6) 自然教室
- (7) 大阪発保育・子育てを考える集い
- (8) 子ども支援学研究会
- (9) 研修講座の企画運営
- (10) その他

##### 6. 子どもの権利に関する国際交流

##### 7. 子どもの保育

###### 【収益目的事業】

##### 1. 保育担い手養成、派遣事業

- (1) 保育者（保育担い手）派遣
- (2) 保育担い手育成講座

##### 2. 書籍の編集業務受託

- (1) 自治労の保育運動編集委託

##### 3. 子どもの権利条約教材作成

## 2. 第2回定時会員総会

日 時：2015年5月31日(日) 10:45～12:00

場 所：HRCビル4階研修室

出席者：47／表決状提出：167 計214

会員総数(個人正会員291、団体正会員80、計371)の過半数出席

議 案：2014年度事業報告／決算並びに監査報告／役員の変更／定款変更

## 3. 会員の拡大と広報の充実

### (1) 会員の拡大

会員種別	2015年度	2015年度	2015年度
	入会目標数	入会者数	退会者数
個人正会員	30	25	12
個人賛助会員	15	15	
団体正会員	5	0	0

### (2) 広報の充実

ホームページおよびブログ、Facebookの更新、充実をはかり、情報発信をおこなう。

「子どもの権利」の広報、入会・参加の促進をめざす。 <http://www.kojoken.jp/>

## 4. 理事会

開催日と内容は以下のとおり

- ・第1回 4/22(水) 19:00～20:20  
平成27年度大阪市小規模保育事業所設置・運営事業者募集への申請について
- ・第2回 4/28(水) 18:0～21:00  
2014年度事業報告、決算(案)、2015年度予算(案)、理事の就任、保育事業に関わり定款変更、総会の議案確認及び役割分担
- ・第3回 7/16(木) 19:00～21:15  
職務執行の報告、保育事業の進捗報告
- ・第4回 9/7(月) 13:00～15:00  
保育事業(大阪市小規模保育事業)への応募について
- ・第5回 10/15(木) 18:30～20:45  
職務執行の報告、2016年度予算案、大阪府への申請、諸規定、募集特定寄付金の募集について
- ・第6回 11/18(水) 18:30～20:00  
保育事業の報告、WAMの借入金・募集特定寄付金募集金額・法務課申請内容について
- ・第7回 12/16(水) 18:30～21:00  
職務執行の報告、2016年度会費・事務局体制・諸規定案について
- ・第8回 1/18(月) 18:30～20:30  
WAM借入(担保、連帯保証人)の件、大阪市不登校通所事業「自由空間☆きらり」次年度の件、家庭再統合支援事業次年度申請の件
- ・第9回 3/9(水) 18:30～21:00  
職務執行の報告、「子どもの保育」事業の大阪府法務課「変更認定」申請について、寄附金・WAM借入・委託事業の申請結果・貸借対照表・自由空間☆きらりについて
- ・第10回 3/18(金) 18:30～21:30  
2016年度事業計画案・事務局体制案の承認、2016年度収支予算案の承認、組織図の承認、定期会員総会招集の決定、諸規定の承認、自由空間☆きらりについて

## 5. 事業部門連絡会

部門ごとに知的資産を明確にし、強みを共有する場として次のとおり開催。

- ・第1回 4/20(月) 13:00～15:00  
2014年度事業報告、年次報告書、定時会員総会について
- ・第2回 6/15(月) 13:0～15:00  
やってみようSWOT分析
- ・第3回 8/17(月) 13:00～15:00  
若者プロジェクト、月刊『はらっぱ』について
- ・第4回 10/19(月) 13:00～15:00  
寄附の集め方、これからのセンターについて
- ・第5回 12/21(月) 13:00～15:00  
次年度事業部門連絡会のあり方について
- ・第6回 2/15(月) 13:00～15:00  
2016年度事業計画及び予算の確認
- ・第7回 3/14(月) 13:00～15:00  
事業部門と担当理事について

## ■公益目的事業

### 1. 子どもの権利に関する調査研究

#### (1) 独立子どもアドボカシー研究プロジェクト

**【概要】** 児童福祉施設への「独立子どもアドボケイト※」導入ニーズと課題を検討し、「独立子どもアドボケイト」の養成、ならびに派遣システムの構築をめざす。

※「独立子どもアドボケイト」とは、イギリス全土で発展してきた子どもの権利擁護システムのひとつ。子どもアドボカシーとは「子どもの利益のために、子どもを支援すること、または子どもの代弁をすること」と定義される。これは、子どもの生活にかかわるおとなにより自然に行われることであり、また、子どもにかかわる専門職の基本的技術だと言える。こうした一般的な子どもアドボカシーとは別に、「独立子どもアドボケイト」システムがある。子どもにかかわる専門職が子どもの最善の利益の判断をする場合、子どもの意見や願いを聴くことに困難を感じる場合も多く、子ども関連機関からは独立して、専ら子どもの代弁をおこなう「独立子どもアドボケイト」システムがつくられてきた。

**【実施事業】**・研究会の実施 8/29(土)、9/12(土)、12/6(日)、1/10(日)  
・子どもアドボカシー調査研究報告会の開催  
1/31(日) 13:15～16:45、HRCビル5階ホール、参加者62人

#### (2) 「子ども家庭相談室相談員研修プログラム」開発プロジェクト

**【概要】** 「子ども家庭相談室相談員研修プログラム」を作成し、地域社会における子どもの人権救済を担う人を養成する。

**【対象者】** 子どもの権利擁護に関心のある人

**【目的】** 子どもの権利救済

**【2015年度の目標】** 子どもアドボケイトに求められる役割と姿勢に関する調査と研究のまとめ

**【実施事業】** 研究会 6/5(金) セクシュアル・ハラスメント事例⑤確認、第2回ワーク試行振り返り  
7/31(金) 発達障害のケース事例⑥を考える  
9/18(金) 事例⑥の演習を考える 幼児の事例⑦の検討  
10/14(水) 事例⑥の演習を完成 事例⑦の検討  
11/13(金) 2015年度事業計画半期のふりかえり 事例⑦の検討  
12/11(金) 事例⑦の完成  
1/13(水) 2016年度事業計画作成 2015年度の最終計画案  
3/11(金) 第1回事例集作成に向けての事例全体の見直し  
和泉市の中学校で教職員対象のワークの実施 (2016.1.5)

## 2. 子ども及び家庭のアドボカシー

### (1) ファミリー子育て何でもダイヤル

【開設時間】 毎週水曜日 10:00～21:00（年末年始祝祭日は除く） TEL 06-6585-9287

アクセス件数：106 件

総通話時間：3750 分

スタッフ：登録スタッフ 25 人（うち活動スタッフ 15 人）

※1 日 2～3 シフト（一人あたり月 1～3 回のローテーションを組んで担当）

【概要】子どもや家庭のこと自分のこと、どんなことでも話せる子育て家庭のための電話を実施する。

【対象者】子どもや家庭に関するしんどさをかかえる人

【目的】話を聴くことで、電話をかけてきた人が自分らしく生きるちからをとりもどす。  
そのことで人と安心してつながる社会をひろげていく。

【2015 年度の目標】世代を超えて、いろいろな人に届くよう、広報する。  
スタッフ間の支え合う関係を築く。

【実施事業】スタッフミーティング 4/8, 5/13, 7/8, 8/26, 9/30, 10/21, 11/25, 1/27, 3/30（全 10 回）

スタッフ研修 ①7/3（金）「北村さんの話をきこう」 ②9/30（水）「SWOT 分析」

③11/15（金）チャイルドライン合同の支え手研修

年次報告書の作成 子育て家庭の現状と課題を広く社会に発信していく。

広報 子育て講座などの受講者や、各団体などにカードを配布。「はっぴいポケットみ・な・と」通信に情報掲載。子育て拠点事業所に出向き直接広報。

公開講座、スタッフ養成講座の実施 下記の通り

実践講座の実施 2/10（水）7 人、3/9（月）、10 人、3/23（水）5 人

#### 【養成講座プログラム】

日程・場所	参加人数	テーマ	講師
12/13(日) 5F ホール	29 人	公開講座 からだから聴く	かめわざ快心塾 ワークショップリーダー かめおかゆみこ
1/9 (土) 5F 小会議室	10 人	なぜ電話相談にとりくむのか	公益社団法人子ども情報研究センター理事 田中文字
	10 人	相談者の力を感じながら「聴く」	子ども家庭相談室 奥村仁美
1/10(日) 5F 小会議室	11 人	子どもの権利条約と子育て	公益社団法人子ども情報研究センター 二葉智代
	10 人	障害ってなに？ 精神障害、発達障害とよばれる人たち	子ども家庭サポーター 石打澄枝
1/30(土) 4F 研修室	7 人	～就労と子育て 働く親の現状を知る～	日本労働組合総連合会大阪府連合会 永野有紀
	7 人	「聴いてもらえる」ということ ～安心と信頼の関係づくり～	「子・己育ち相談リリース」主宰 小谷訓子
	7 人	交流会	ダイヤルスタッフ

### (2) チャイルドライン OSAKA

【開設時間】 毎週金曜 16:00～21:00 TEL0120-99-7777

アクセス件数：1227 件

総通話時間：177 時間 5 分

体制：28 人

【概要】18 歳までの子どもの専用電話の開設。全国統一フリーダイヤルで子どもたちの声を聴く。

【対象者】18 歳までの子ども

【目的】「子どもの意見表明」の場を確保する。

・子どもにかかわるおとなや社会へ子どもが意見表明することの大切さを伝え、子どもの現状を社会発信する。

**【2015年度の目標】**・子どもの声をしっかりと聴く。 ・振り返りを充実する。 ・定例会、現任研修を実施する。 ・子どもの声を聴くことの大切さを広める。 ・ホームページを充実させて活動報告・社会発信をする。 ・スタッフを確保する。 ・スタッフの交流をはかり、多くのスタッフにシフトに入ってもらおう。 ・全国のチャイルドライン実施団体と連携を取る。

**【実施事業】** 定例会：9回

- ・チャイルドライン ボランティア養成講座 開催 \*プログラムは下記参照
- ・チャイルドライン ボランティア実践講座 開催 (7/17, 7/24)
- ・スタッフ研修 ①チャイルドラインすいたで合同研修 (5/24)
  - ②「チャイルドライン ボランティア養成講座」を現任研修として受講
  - ③合宿研修 (9/6, 7 チャイルドラインすいたのスタッフと)
  - ④チャイルドライン全国研修 (10/25)
- ・支え手研修 (11/15) ・スタッフ交流会 (4/5, 1/17)
- ・広報活動 ①大阪連絡会府立高校・市立高校、大阪府下の私立小・中・高校へポスター400枚を発送 (5/24)
  - ②大阪連絡会として寝屋川市の小中学生にカード19000枚配布の手配 (11/19)
  - ③豊中市野畑小学校6年生にカード配布
  - ④「ネットにつながるチャイルドライン」カード、配布
  - ⑤NHK「いじめを考えるキャンペーン ー100万人の行動宣言ー」参加
- ・他団体との連携 ①チャイルドライン大阪連絡会 4回 ②近畿北陸エリア会議 3回
  - ③チャイルドライン全国運営者会議 (12/5, 6)

**【養成講座プログラム】**

日時	テーマ	講師
5月9日(土) 13:30~15:30	公開講座 【ネットにはまる子どもたち ~困っているけどやめられない~】	大阪府立学校人権教育研究会 「情報と人権チーム」のみなさん
5月23日(土) 10:30~12:30	オリエンテーション ~チャイルドラインについて~	子ども情報研究センター 「チャイルドライン OSAKA」スタッフ
5月23日(土) 13:30~16:30	「子どもの権利条約」って 知っていますか?	浜田 進士さん (公益社団法人子ども情報研究センター理事)
6月6日(土) 10:30~12:30	あなたのペースで ~子どもに出会っている現場から~	山下晋平さん、辻佳秀さん(大阪市こども相談センター不登校児童通所事業「自由空間☆きらり」)
6月6日(土) 13:30~16:30	わたしOK、あなたOK ~自尊感情を育む~	金 香百合さん (HEAL ホリスティック教育実践研究所所長)
6月20日(土) 10:30~12:30	気持ちの対話をしてみよう ~子どもの声を聴くワーク~	小谷訓子さん (こらぼれチップス「チャイルドラインすいた」)
6月20日(土) 13:30~16:30	子どもの声から「いじめ・体罰を考える」	子ども情報研究センター 「子ども家庭相談室」スタッフ
6月27日(土) 10:30~12:30	子どもをとりまくジェンダー ~あなたらしくを大切に~	奥村仁美さん(NPO法人 SAKAI 子育てトライアングル 代表理事)
6月27日(土) 13:30~16:00	養成講座ふりかえり&活動説明 修了式	子ども情報研究センター 「チャイルドライン OSAKA」スタッフ

### (3) 子ども家庭相談室

**【開設状況】**・電話：毎週月・火・木曜日 10:00~20:00 TEL06-4394-8754

- ・相談件数：302件
- ・面接：毎週木曜日 10:00~20:00
- ・面接件数：62件
- ・調整：8件

・申立：0件

**【概要】**・子どもの人権侵害にかかわる相談を、子どもやおとなから受け、子どもの権利条約をベースにして、子どもとともに解決を模索する。 ・年次報告書を通じて、子どもの現状や子どもの声を聴く大切さを伝える。 ・大阪府教育委員会「学校における児童・生徒のための『被害者救済システム』」の連携相談窓口である。

**【対象者】** 子ども

**【目的】**「子どもの意見表明」を保障し、子どもが主体的に参加して、子どもの権利の回復をめざす。

**【2015年度の目標】**①「民間第三者機関」の役割と機能を整理して、相談室内で共通認識を持つ。

② ①をもとに子ども・おとなへの広報に努める。

広報のためのツール作り→子どもに伝わる独自の方法を開発

→大阪府教委、市町村教委、私立学校への広報（プレゼン用資料）

③ 市町村教委とさらに連携を深める。

④ 他の相談機関やS S Wへの広報と連携

**【実施事業】**・ケース検討会議 48回

・チャイルドラインボランティア養成講座の講師を担当

（子どもの声から「いじめ・体罰を考える」）

・「子どもの権利スタンプラリー」実施に協力

#### （4）大阪府教育委員会「24時間電話相談」に係る夜間・休日等の教育相談

**【概要】**子どもや保護者からの相談に迅速に応じるため、24時間開設している相談電話。大阪府教育センター「すこやか教育相談」における電話相談の実施時間帯以外の時間帯（夜間・休日等）の電話相談業務の委託。

**【開設状況】**・日時：2015年4月1日～2016年3月31日

平日17：30～翌朝9：30 および土・日祝の終日

・相談件数：2525件

#### （5）大阪市地域子育て支援拠点事業（ひろば型）

##### ●つどいの広場「育児&育自“この指と～まれ！”」（淀川区）

**【概要】**・大阪市つどいの広場運營業務委託

・開設曜日：月曜日／火曜日／水曜日／木曜日／金曜日 ・開設時間：11時～16時

**【対象者】**0歳から3歳（就園前）の子どもとその保護者

**【目的】**・子育て親子の交流の場の提供と交流を促進する。・子育てに関する相談及び援助を実施する。

・地域の子育て関連情報を提供する。・子育て及び子育て支援に関する講習会等を実施する。

・地域の関連機関や子育て支援活動をおこなう団体等との連携、地域に出向いた地域支援活動を実施する。

**【2015年度の目標】**・マタニティ層を含めての子育て支援ネットワーク作り

・子育て世代のニーズを把握し、それに即した講座・講習会・イベントの実施

・上記開催に当たり、現子育て世代の親やつどい卒業生の保護者の趣味や経験を活かしたり、ボランティアとして参加してもらえるようにする。

・商店街内という立地を生かした地域交流や世代間交流を促進する。

**【実施事業】**・参加人数 子ども1700人、おとな1388人

・相談件数152件

・講習、イベント 参加人数 子ども464人、おとな376人

・定例会：毎月1回スタッフ全員参加

・広報：月1回予定表発行

## ●つどいの広場「はっぴいポケットみ・な・と」(港区)

【概要】・大阪市つどいの広場運営業務委託

・開設曜日：月曜日／火曜日／水曜日／金曜日／土曜日　・開設時間：10時～15時

【対象者】子育て中の親と乳幼児

【目的】安心して子育てできる居場所と地域づくり

【2015年度の目標】・講座・イベントを通して、世代や立場が違ってもしっかりコミュニケーションがはかれるようなひろばづくりをおこなう。　・地域との連携の充実をはかる。  
(子育て支援の連絡会「みんなと子育てしチャオ」「子ども育成事業等の参加」  
・父親の参加率をあげる　・つどいの広場を知らない人への周知強化

【実施事業】・実施日　243日

・参加人数　子ども2622人、おとな2130人

・相談件数　208件

・講習、イベント回数　71回　参加人数　子ども479人、おとな579人

＊内容：英語であそぼう、ベビーマッサージ、ヨガ、ハンドマッサージ、えほんひろば  
公園あそび、氷あそび、工作づくり、おしゃべり会、まえむきIPPO(講習)など

・スタッフ定例会　12回　・広報　みなと通信月1回発行

## (6) 大阪市子ども相談センター不登校児童通所事業 「自由空間☆きらり」(平野区)

【概要】大阪市からの業務委託　不登校の居場所事業の運営

【開設日時・状況】開設日時：毎週火・水・金・土曜　開設時間：11:00～15:30

【対象者】不登校の小学生・中学生

【目的】・学校や家庭で傷ついたり課題を抱えたりした子どもが、あるがままの自分自身を受け入れ、肯定し、自分らしく生きられるために居場所を開設する。  
・子どもが安心して生きていくために子どもの関係する機関と連携する。

【2015年度の目標】

・ボランティアスタッフの増員

目標：15名程度(急な欠席などに対応できる人数の確保を目指す)

・コーディネーターの増員・資質向上

目標：開設場所増設に向けて、コーディネーターの増員と資質の向上を目指す

・大阪市との連携の強化

目標：担当係長や相談員との連携をスムーズに行い、子どもが安心して過ごせる環境の構築を目指す

・活動しやすい環境づくり

目標：スタッフが活動しやすい環境を作ることで、子どもが安心して過ごせる居場所を目指す

【実施事業】・スタッフ数：10人

・登録者数：中学生6人

・スタッフ会議：月に1度(8.12月除く)

・おしまい会：3/19(土)

※2004年より実施してきた本事業は、2015年度をもって活動を終える。

## (7) 大阪府子ども家庭サポーター協議会(サポーターネット)

【概要】市民による子育て支援を広げるために、児童虐待予防や地域の子育て支援に関心のある市民の情報交換やスキルアップを図る場が必要であり、「大阪府子ども家庭サポーター※」の有志と当センターが中心となり協議会をつくった。講座や講演等を企画・開催している。

※「大阪府子ども家庭サポーター」とは、2001年～2006年、市民の立場で児童虐待防止の役割を担うことを目的として、大阪府内に約1,000人を養成した「大阪府子ども虐待防止アドバイザー」の愛称である。当法人が大阪府より委託を受け、養成研修を実施した。

【対象者】「子どもの虐待」に心を寄せる人

【目的】虐待の社会的背景を問い直す。

【2015年度の目標】昨年度より続けてきた虐待防止に関する資料・文献の読書会を継続し、その成果を冊子の形にまとめる。虐待問題に詳しい研究者をゲストに迎えてシンポジウムを開催、冊子と共に広く虐待の社会的背景について問いかける。

【実施事業】・読書会（月1回開催）

4/22（水）、5/27（水）、6/24（水）、7/29（水）、8/26（水）、9/30（水）、10/21（水）、11/18（水）、12/16（水）、1/27（水）、2/24（水）、3/30（水）

文献/S.D.ハロウェイ『少子化時代の「良妻賢母」』

水無田気流『「居場所」のない男、「時間」がない女』

上野千鶴子対談集『セクシュアリティをことばにする』

・11/18（日）関西子どもの権利条約フォーラム 2015 にて分科会③ワークショップ「ネグレクトについて考える」を担当。

・「はらっぱ」11月号 特集「母の基準」担当。

### （8）講座付き保育体験事業（保育部ももぐみ）

【概要】子どもが意見表明しながら、自分で居場所を見つける「保育」（人権を大切にする保育）を広く啓発する。子どもが親と離れて友だちや他のおとなたちと出会い、ともに過ごす場を提供し、「保育部ももぐみ」という愛称で「講座付き『保育』」をおこなう。子どもの人権を大切にする独自プログラムを、子どもは保育として、保護者は講座として、それぞれに体験する。

【対象者】保育が必要なすべての子ども

【目的】子どももおとなも一人の人として尊重されることを、体験を通して啓発する。

【2015年度の目標】講座付き保育を広く発信する。

【実施事業】・講座付き保育講座を開催

・人権保育（子どもの人権を大切にする保育）の実践

・「ももぐみだより」の発行

・講座付き保育講座をパッケージ化し、行政や男女共同参画センターにアピールする

・「もくようポケット」（一時預かり）の実施（月1回）

## 3. 子どもの参加の促進

### （1）ティーンズメッセージ from はらっぱ編集

【概要】子どもの社会参加を促進するため、子ども編集部スタッフを募り、『はらっぱ』の「ティーンズメッセージ from はらっぱ」の連載を担当。（子ども編集部スタッフ会議を開き、企画、取材、執筆までを子どもたちが担う）

【対象者】19歳までの子ども

【目的】・自分たちの気持ちや考えを、自分たちの言葉で社会に発信する。

・発信を通して、社会参画する。

【2015年度の目標】知りたいこと、挑戦したいことを思いきって言葉にし、たくさんの人との出会いを楽しみ、困ったときは助けを求めながら、自分たちの手で今年も企画を現実していく。



- 【実施事業】** 4月号：おしごと!?やってみました 『ファウストの恋人』 in オリックス劇場！  
 5月号：今年もやるで！ はらっぱ子ども編集部  
 6月号：二階建て電車で、ワクワク！行ってきました、あこがれの京都珍道中。  
 7月号：『弱いロボット』の岡田先生と会って  
 8月号：東北子どものまちづくりサミット～ぼくらが叶えるゆめのまち～へ参加して  
 9月号：パティシエールに取材！ 人を笑顔にする仕事  
 10月号：夏休みは子どもの声でつくった楽校であそぼう！  
 11月号：いつもニコニコ いくらサーカス団!!  
 12月号：畑あそび～いもほり、ざりがに、土あそび！～  
 1・2月号：～子どもが変える・おとなが変わる・しくみは変わる～ひっくりカエル  
 3月号：行ってきました！「子どもの権利条約フォーラム2015 in 石巻」

## (2) 「きみの声で楽校をつくろう！」プロジェクト

**【概要】** 子どもが自分の考えを表明し、様々な人との交流を通して、自分が知りたいことを知り、学びたいことが学べる「楽校」<sup>がっこう</sup>を、子どもの手でつくりあげる。

**【対象者】** 子ども

**【目的】** ・楽校づくりの過程において、子どもが自分の手で「憧れ」を「現実」にしていける手応えを、自分の力に気づく。 ・子どもとおとなのパートナーシップについて、実践的に学びあう。

**【2015年度の目標】** ・子ども会議や本番当日の運営を、より子どもたちが主体となって活動できるようにする。 ・事前に、高校生年齢以上のユーススタッフとおとながゆっくり話しあえる場をつくる。 ・開催後に活動を丁寧に振り返り、気づきを社会発信する。

**【実施事業】** 日程：子ども会議 6/28（日） 7/5（日） 7/26（日） 8/9（日） 8/18（火） 13：30～16：30  
 子ども会議振り返り 9/5（土） 10：00～12：00  
 本番 8/22（土）、23（日） 10：00～16：00  
 ・場所：堺市立梅文化会館  
 ・参加人数：85人  
 ・子どもゆめ基金助成事業

## (3) 子どもの権利条約フォーラムへの参加

**【概要】** 子どもの権利条約フォーラム※に子どもが参加し、分科会の企画と実施にかかわる。

※1993年から毎年、全国各地で開催。フォーラムを通して、子どもの権利条約の実施・普及や子ども支援にとりくむ個人、NGO、NPOなど団体の交流、自治体との協力・連携をすすめている。

**【対象者】** 18歳までの子ども

**【目的】** ・分科会の企画、実施にかかわることで、子ども自身が自分の力に気づく。 ・子どもたちが、子どもの権利条約の存在を知る。

**【2015年度の目標】** ・子どもの権利条約フォーラム2015（石巻市）に参加する。 ・これまで参加していない子どもにも参加を広く呼びかける。 ・子ども主体の分科会を担当する。

**【実施事業】** ・「子どもの権利条約フォーラム2015in 石巻」への参加  
 ・日時：11/21（土）、22（日）  
 ・場所：石巻専修大学  
 ・参加人数：子ども2人、おとな2人

## 4. 子どもの権利に関する図書の編集

### (1) 月刊『はらっぱ』編集

- 【概要】**・子どもを取り巻くさまざまな課題をとらえる誌面を月刊で編集する。
- ・当法人の各事業から見えてきた子どもの人権の現状や課題を発信する。
  - ・各地の人権保障の取り組みを紹介する。
  - ・当法人ホームページで公表、会員には、誌面媒体として毎月送付する。

**【対象者】**子どもの人権に関心のある人

- 【目的】**・子どもの権利や解放教育をはじめ、平和・教育・ジェンダーなど、社会に広く存在するさまざまな課題について、知り、考え、語りあうためのツールとする。
- ・地域社会に子どもの人権文化が根づくことをめざす。

#### **【2015年度の目標】**

- ・「子どもの権利条約」を社会に根づかせるための情報提供と企画、提案を誌面に反映させる。
- ・つねにジェンダーフリーの視点をもちつつ最新の社会的課題に対する先鋭的な視野を養い、それを広く知らせ、語りあう場の提供に努める。
- ・新コーナーを設けることでさらに内容に広がりと深みを加え、オペレーターの交代により校正時に迅速な対応ができるよう試みる。

#### **【実施事業】**<特集テーマ>

- 4月号：子ども情報研究センターの存在意義 子情研のリアル「来し方・行く末」を語ろう
- 5月号：子どもの意見表明をいかに支えるか ちよっと待ってちよっと待って！おとなの都合
- 6月号：学校は、だれのもの？
- 7月号：「保育」は、子どもとともにあそぶこと
- 8月号：沖縄でおきていること
- 9月号：子どもとスマホ～LINEについて考えた。
- 10月号：大阪の子ども施策のいまとこれから
- 11月号：母の基準
- 12月号：絵本と平和
- 1・2月号：広げよう！ 共同子育ての輪を ー共同子育て連絡会発ー
- 3月号：<活動すること>と<仕事すること>

### (2) 書籍の編集・発行

**【概要】**子ども情報研究センターの研究成果の積み重ねを書籍に編集し、発行する。

**【実施事業】**編集発行なし

### (3) 年次報告書編集

**【概要】**各事業の年次報告書を作成し、子どもの人権の現状と課題を発信する。

**【2015年度の目標】**子ども及び家庭のアドボカシー事業として、各事業をまとめた形で編集・発行する。

(事業…チャイルドラインOSAKA、ファミリー子育て何でもダイヤル、子ども家庭相談室、つどいの広場2か所、不登校児童通所事業、サポーターネット)

**【実施事業】**会員定時総会にて配布、ホームページにて公開

## 5. 子どもの権利に関する研修

### (1) 人権保育教育連続講座

【概要】就学前の保育教育関係者を対象に、人権保育教育の理論と実践を学ぶ講座を年10回(前後期、各5回)開催する。

【対象者】保育教育に携わる主として保育士、幼稚園教諭、子育て支援事業担当者、保育子育てに関心のある市民

【目的】就学前の保育教育環境に人権保育の視点を取り入れる。

【2015年度の目標】参加対象の枠を広げる。つどいの広場従事者・参加者、子育て関連のNPO団体などを対象に広報に努める。

【実施事業】会場：HRCビル5階ホール

テーマ：子どもの人権を大切に作る保育を、ともに

参加人数：前期389人、後期334人

前期		テーマ	講師
1	6/5 (金)	保護者とのコミュニケーション ～困ったトラブルだと思ふ前に～	田中文字子 (千里金蘭大学講師)
2	6/19 (金)	障がい児共同保育 ～子どもたちの子どもたちによる 子どもたちの保育とは～	野島千恵子 (幼保連携型認定こども園聖愛園園長)
3	6/26 (金)	ひととふれあうあたたかさ つながる楽しさを!	谷畑恵子 (リズムと表現の会)
4	7/1 (水)	実践から学ぶ子どもの表現 0歳からの実践を通して	永渕泰一郎 (畿央大学教育学部現代教育学科)
5	7/8 (金)	保育という仕事 保育現場の情報交換と保育者交流	松尾純代 (大阪人権保育連絡協議会 副代表)
後期		テーマ	講師
1	10/14 (水)	「ヒト」としての土台を築く 0歳からの保育	堀井二実 (社会福祉法人わくわく保育園園長)
2	10/28 (水)	もっともっと 絵本を楽しもう! えほんのひろばでひろば読み	加藤啓子 (絵本あれこれ研究家)
3	11/4 (水)	子どもからの学び 「なんで!!」から 「この子たちに出会えてよかった」へ	吉田美智代 (泉南市立くすのき幼稚園)
4	11/18 (水)	「女の子」「男の子」はつくられる “らしさ”にとらわれない保育とは	栗本敦子 (Facilitator's LABO<えふらぼ>)
5	11/25 (水)	語ろう! わたしの保育・あなたの保育 ～保育者の情報交換と保育者交流	子ども情報研究センタースタッフ

### (2) 共同子育て連絡会

【概要】地域の子育て支援事業を充実させるため、子育て家庭の現状や課題、子育て支援のあり方について、共同子育ての理念のもとに、研修・学習会をおこなう。

【対象者】子どもにかかわるすべてのおとな

【目的】・子育ては社会共同の営みであることを再認識する。

・子育てを取り巻く垣根を取りはらって、共同子育てを広く発信する。

【2015年度の目標】・共同子育ての理解をまとめ、『はらっぱ』を通して発信する。

・共同子育て論を、ゼミナールを開催して深める。

【実施事業】地域子育て支援の実践者が集まり、以下の活動において、「共同子育て」について議論を深め、その成果を発信した。

- ・定例会 5/19 (火)、6/25 (木)、7/10 (金)、9/7 (月)、10/26 (月)、11/11 (水)、1/22 (金)
  - ・「はらっぱ」の共同子育て連絡会発「子育て温泉」のコーナーを担当 (年間5回)
  - ・「はらっぱ」2015年9月号「センター発」担当
  - ・「はらっぱ」2016年1、2月号特集「広げよう！共同子育ての輪を」を担当
  - ・講座の開催「名称：共同子育て連絡会発ゼミナール」 開催場所：HRCビル402号
- ①6/25 (木)「小窓をあけて～子どもの人権を大切にすって？」 浜田進士さん 参加者15人  
②7/10 (金)「子どもをめぐる社会の変化」 大森順子さん 参加者10人  
③7/10 (金)「現場で感じる共同子育て」 奥村仁美さん 参加者10人

### (3) テーマ別研究部会

【概要】保育教育の現場において、子どもの人権の観点に立った実践を拡充するため、以下の5つのテーマで研究学習会を実施している。「障害児の生活と共育を考える」「子ども人権」「子育て連携」「子どものことばと生活」「からだ育て」の5部会がある。月1回から年数回おこなっている。

#### ●「障害児の生活と共育を考える」：堀正嗣（熊本学園大学教員）

【実施事業】学習会の開催

日時：5/24 (日) 14:00～16:50

場所：HRCビル4階研修室

テーマ：真宗学と障害学

報告者：頼尊 恒信さん (NPO法人CILだんない)

コーディネーター：堀 正嗣 (子ども情報研究センター／熊本学園大学)

#### ●「子ども人権」：住友剛（京都精華大学教員）

【概要】学校教育や保育、福祉、地域社会、家庭の子育て、文化・スポーツ・あそび・余暇等の諸領域における子どもの人権に関する諸課題や、子どもの権利条約及び国連子どもの権利委員会の総括所見などに関する学習を中心的にすすめる。また、センター会員が日々、諸活動で直面する子どもの人権に関する諸課題や、センターの地元である大阪府及び大阪市、府内各自治体の子どもの人権に関する諸課題についても、議論や学習を深めていく。

【対象者】・子ども情報研究センター会員

- ・関連する諸領域に関心のある市民・研究者・学生等

【目的】子どもの人権及び子どもの権利条約に関する諸課題への意識啓発、研究・学習活動。

【2015年度の目標】※「子育て連携」部会と合同開催 年4回程度の学習会を開催する。

【実施事業】・『はらっぱ』10月号特集担当 (子育て連携部会とともに担当)

「大阪の子ども施策のいまとこれから」

- ・部会の開催 テーマ：子ども人権部会、これからどうする？

日時：1/23 (土) 14:00～16:00

場所：HRCビル4階ももぐみ

#### ●「子育て連携」：井上寿美（関西福祉大学教員）

【概要】子どもの育ちは、保護者、教職員、保育士、地域の人など、様々な人たちに支えられる必要がある。地域の多様な人による子育て支援に関する学習を中心に進める。

【対象者】・子ども情報研究センターの会員 学習テーマに関心のある市民・研究者・学生等

【目的】地域の多様な人による子育て支援に関して学ぶ。

【2015年度の目標】子どもの育ちを支えるにあたり、子どもとの関係をどのように築いていけばよいか、「支援」の実際について理解を深める。

【実施事業】・『はらっぱ』10月号特集担当（子育て連携部会とともに担当）

「大阪の子ども施策のいまとこれから」

・連続講座「生きづらい状況にある人の暮らしを地域で支える―地域で自分らしく生活できる社会を目指して―」の開催

参加人数：11人

第1回 2/27（土）13：30～16：30（於：HRC ビル 4 階ももぐみ）

地域の支えが乏しくなった時代の子育て・子育て

第1部）報告：妊婦健診を受けないで出産した若い母親と子どものエピソード

第2部）意見交換

第2回 3/5（土）13：30～16：30（於：HRC ビル 4 階ももぐみ）

精神障害者の暮らしを地域で支える精神科医のとりくみ

第1部）報告：当事者の主体性を尊重する精神科医のエピソード

第2部）意見交換

第3回 3/26（土）13：30～16：30（於：HRCビル5階小会議室）

地域で支える被虐待経験のある子どもの育ち

―社会的養護児童の子育ての社会化の意義とそれを可能とする地域―

第1部）報告：社会的養護児童に関する子育ての社会化のエピソード

第2部）意見交換

### ●「子どものことばと生活」：早川勝廣（平安女学院大学教員）

2015年度は、部会としての活動はなかった。

### ●「からだ育て」：天野忠雄（元中学校教員）

【概要】保育内容（健康、人間関係、環境、言葉、表現）のなかでからだ育ての課題を研究する。

【対象者】保育士、幼稚園教諭、学校教職員

【目的】子どもの健康・生命・生存とかかわる課題を理論、具体的実際（実技）をまじえて追及していく。

【2015年度の目標】(A)子ども情報研究センター事務所開催

昨年度より、夜18時～20時の活動となりメンバーも定着化してきたので、『はらっぱ』連載の「からだ・ことば・リズム」と関連した内容で進めていく。

(B)保育所聖愛園開催 未定

【実施事業】(A)子ども情報研究センター事務所開催

計画は参加者の要望なども聞き、多少変更することもあるとことわり、次のようにたてた。

①からだ育てからみた「笑う」「泣く」

②おやこ体操あそびの原初―つるまき体操

③からだ育ての視点から、保育指針、教育要領を考える

④再度、野口体操の理論と実技を学ぶ

⑤絵本と表現―いくつかの絵本を参加者で表現してみる

⑥『子どものあそびとうた』（小泉文夫 民族音楽・草思社）に学ぶ

- ①については、機関誌『はらっぱ』連載の「からだ・ことば・リズム」第34回・笑いについてを資料に、笑いの構造、文化としての笑いのことなども話し合った。
- ②④については、「からだは、イメージタンク」(第24回)、呼吸法(第32回)、「もしもしかめよ たまごをたてる」(第35回)を参考に研究を深めることができた。
- ⑤についても、前述「からだは、イメージタンク」のなかで紹介されている『まわればまがりみち』(井上洋介 福音館)を例に、絵本で遊ぶ楽しさを共有した。
- ③⑥については、次年度に機会をみつけ、研究課題としたい。

※部会では、時事問題として、つぎのようなことも、話題にして意見交換をしあった。  
ベビーマッサージのこと・インナーマッスル(深層筋)とは・体幹トレーニング(背骨、骨盤の安定)とは・部活問題・新国立競技場問題・ドーピング問題・からだと声について

(B) 保育所聖愛園開催

2015年度は、部会としての活動はなかった。

#### (4) 大阪市子ども家庭支援員研修

【概要】大阪市は、広く子育て家庭の権利を守り、児童虐待を予防するために訪問支援をする「子ども家庭支援員」の認定と現任研修を実施している。当法人は引き続き委託申請する予定である。

【実施事業】・認定研修 日程：2015年9月16日～11月4日 修了者数：受講者2名のうち2名修了

開催日	テーマ	内容	講師
9/16 (水)	1	開講式	大阪市こども青少年局
	2	養育支援訪問事業の意義と内容	養育支援訪問事業とは 木村百合(元吹田子ども家庭センター所長)
	3	児童虐待防止における市民の役割	自己紹介、出会いのワーク 専門機関と異なる視点から、市民が関わることの大切さについて 田中文字(千里金蘭大学教員) 公益社団法人子ども情報研究センタースタッフ
	4	家庭訪問支援の基礎	訪問支援の中で、留意しておくべきポイントとは？ 田中文字(千里金蘭大学教員)
10/2 (金)	5	子育て家庭の現状と課題①	児童虐待とは・児童虐待防止法について大阪市の現状から学ぶ 石田雅弘(児童虐待防止協会)
	6	家庭訪問支援の実際① ～子どもに寄り添う～	事例から家庭訪問支援の実際について学ぶ 奥村仁美(NPO法人SAKAI子育てトライアングル代表理事)
	7	【演習】支援の基本は聴く	自分の価値観に気づくワーク、傾聴のワーク 山下裕子(公益社団法人子ども情報研究センター事務局長)
10/24 (土)	8	子育て家庭の現状と課題②	DV家庭、ひとり親家庭、子どもの貧困の現状などから 蕨川晴之(社会福祉法人石井記念愛染園わかさ保育園園長)
	9	家庭訪問支援の実際② ～親に寄り添う～	事例から家庭訪問支援の実際について学ぶ 関口淑枝さん(NPO法人子育て運動えん理事)
11/4 (水)	10	家庭訪問支援の実際③ ～親子関係に寄り添う～	事例から家庭訪問支援の実際について学ぶ 内山洋子さん(他市養育支援訪問員)
	11	訪問活動をはじめる前に	講座のふりかえり、個人情報保護の取り扱いについて 訪問活動をはじめる前に留意しておくべきポイントの確認 今橋千晶(公益社団法人子ども情報研究センター理事)
	12	終了式	大阪市こども青少年局

・実践研修 日程：2015年11月4日～2016年1月25日 対象：53名

	日程	テーマと内容	講師	参加人数
第1回	2015年 11月4日(水) 10:00～12:00	児童虐待の現状と課題① ～子どもの抱えるしんどさ～	西川日奈子 (NPO法人西淀川子どもセンター理事長)	20人
第2回	2015年 11月26日(木) 10:00～12:00	児童虐待の現状と課題② ～おとなの抱えるしんどさ～	白山真知子 (児童虐待防止協会)	20人

第3回	2016年 1月25日(月) 10:00~12:00	外国にルーツを持つ親子に出会うとき	山本房代 (とよなか国際交流協会)	19人
第4回	2016年 1月25日(月) 13:00~15:00	【交流会】関わっているケースのしんどさ、訪問活動の意義について語りましょう!!	今橋千晶(子ども情報研究センター)	14人

## (5) 子どもとあそびのネットワーク

【概要】子どもの発想やあそびの過程に視点を向け、子どもの自主的なあそびを大切にするつながりを広げるために交流、研修、意見交換などを行い、情報を発信していく。

【対象者】子ども自らの力に寄り添いつきあえるおとな

【目的】・子どもの主体性を保障する。

・子どもにとってやってみたいこと「あそび」の価値を社会に発信していく。

【2015年度の目標】・かかわりあいをポイントに、子どものあそびをキャッチする。

・子どものあそびをきっかけにしたつながりをつくる。

【実施事業】・交流会 クレオ大阪子育て館 フェスタに参加 10/31(土) スタッフ3名  
AIAI フェスタ 「こどももおとなも、いっしょにあそぼう〜!」に参加  
HRC ビルロビー 11/3(火・祝) スタッフ多数

・グループ訪問「おじゃまんぼう」様子はブログで報告 参加者 延べ人数 45名

日程	訪問先
5/21	みなとキッズ
6/8	グランマのおうち
6/26	谷畑恵子さんの「リズムと表現の会」(人権保育教育連続講座)
8/22, 23	夏休みは子どもの声でつくった楽校であそぼう
9/8	NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス
10/3	あそびのお部屋シュッポポ〜小学生チーム
12/12	自然教室 ~海遊館~
1/22	こどもテラス(障がい児通所事業所)
3/16	羽曳野あいあい保育園(病後児保育)

・定例会 6/8(月)、11/23(月)、1/22(金) (各回5~10名参加)

・依頼講座:2件

## (6) 自然教室

【概要】子どもとともに自然に接し、自然とともに生きることを実感できる場の提供として、戸外において研修会を開く。

【対象者】子どもとおとな

【目的】子どもとともに自然に接し、自然とともに生きることを実感する。

【2015年度の目標】身近な自然に触れる機会を増やす。

【実施事業】「水族館を子どもと楽しむ方法」開催

・日時:12/12 13:00~15:00

・場所:海遊館(大阪市港区、大阪市営地下鉄中央線「大阪港」駅下車徒歩5分)

・内容:海や川にすむ生き物の見方

・講師:森山康浩(子ども情報研究センター代表理事)

・参加人数:子ども9人、おとな12人

## (7) 大阪発保育・子育てを考える集い

**【概要】**大阪において、子育て・保育・教育にかかわる人たちの研修の機会をつくり、保育・教育関係者の資質の向上を図るため、さまざまな立場の者が集い、子どもの人権の観点に立った保育教育の創造に向けて議論の場をつくるため集会を開催する。(2001年度より、自治労大阪府本部との共催) 保育所、幼稚園、学童保育に従事する職員を中心に、広く市民の参加を呼びかけて、講演会等をおこなう全体会とテーマに分かれて学びあう分科会を開いている。

**【対象者】** 保育、子育てに関心ある者、約300人

**【実施事業】**・日時：9/13(日) 10:00~16:00

・全体会：記念講演「ピアノ弾き語りコンサート

生きることのすばらしさ～ピアノで楽しくコミュニケーション

・場所：大阪市立子ども文化センター

・参加人数：303人

・分科会 「子どもといっしょにできる権利条約カルタづくり」子ども家庭相談室相談員

## (8) 子ども支援学研究会

**【概要】** 児童福祉、教育、保健等さまざまな分野において、子どもの権利の観点を拡充するため、子ども支援に関するセミナーを開催する。子ども支援のために何が必要か、何ができるのか。「子どもにやさしいまち」「権利基盤アプローチ」「子ども支援」をキーワードに、問題提起者を迎え、示された論点に沿って討議を行う。

(「子どもオンブズパーソン研究会」「NPO法人子どもの権利条約総合研究所」との共催。)

**【対象者】** テーマに関心のある人

**【目的】** 子どもの権利条約を基盤にした「子どもにやさしいまちづくり」をひろげていく。

**【実施事業】**・第1回研究会

テーマ：子どもにやさしいまち(Child Friendly Cities)の確かな歩み

～韓国における子ども参加と自治、学校づくり・地域づくりの取り組みを通して～

日時：7/18(土) 13:30~17:00

場所：HRCビル5階ホール 参加人数：18人

・第2回研究会

テーマ：子どもの権利の視点から「子どもの貧困問題」を考える

—地域における市民社会のとりのくみ事例を通して

日時：1/30(土) 13:30~17:00

場所：HRCビル4階研修室 参加人数：63人

## (9) 研修講座の企画運営

**【概要】** 子どもの権利擁護にかかわる行政職員や一般市民の資質向上を図るために、人権保育教育に関する講座の企画、講師紹介をおこなう。

**【2015年度の目標】**・反差別・平和・共生社会の実現にむけて、研修会を開催する。

・「子どもの権利条約」の普及と推進をはかるための研修を開催する。

**【実施事業】**・総会記念企画 「圧殺の海」上映会と監督のお話

日時：5/31(日) 13:15~16:30

場所：HRCビル5階ホール

参加人数：100人

・「子どもの権利条約 関西ネットワーク」への参加、事務局を担い、「子どもの権利条約フォーラム in 関西 2015」を開催

日時：11/21(土)、22(日)

場所：HRCビルロビー、4階研修室、5階小会議室・ホール、10階小会議室



参加人数：子ども 35 人、おとな 75 人  
 ・「子どものけんり」学習会  
 計 9 回開催 HRC ビル 5 階小会議室  
 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金

【プログラム】

	日程	テーマ	講師／ファシリテーター
1	5/25 (月)	子どもの権利条約 基本理念、精神を知ろう	藤井浩子さん
2	6/29 (月)	子どもの権利条約 第 12 条「意見表明権」	山下裕子さん
3	7/27 (月)	0 歳からの子どもの権利条約	内山洋子さん
4	8/31 (月)	学校の中での「子どもの権利」	今橋千晶さん
5	9/28 (月)	教育を受ける権利	石打澄枝さん
6	10/19 (月)	地域社会と子どものけんり	中川雄二さん
7	11/30 (月)	子どもの最善の利益	大森順子さん
8	2/22 (月)	埼玉・少年の祖父母刺殺事件	井戸光江さん
9	3/28 (月)	ゼロトレランスを考えよう	中嶋晃子さん

(10) その他

①7/21 安保法制に反対のアピール発信

【アピール文】

私たちは、「安全保障関連法案」に反対します。  
 戦争をする国になりたくない。  
 殺されたくない。  
 殺したくない。  
 殺させたくない。  
 私たちは武力ではなく、話し合いを選びます。

②八尾市養育支援訪問事業訪問員養成講座委託事業

【概要】八尾市からの委託事業

【実施事業】八尾市養育支援訪問事業訪問員養成講座と八尾市養育支援訪問事業フォローアップ講座の企画と運営

【養成講座プログラム】

	日	講座テーマ	講師
1	11/27	養育支援訪問事業の意義と目的	山下裕子 (子ども情報研究センター事務局長)
2		児童虐待とその予防について	木村百合 (元吹田子ども家庭センター所長)
3	12/2	傾聴とコミュニケーション	橋本暢子 (大阪府子ども虐待防止アドバイザー)
4		訪問支援の実際	奥村仁美 (SAKAI 子育てトライアングル代表理事)
5	12/4	養育支援を特に必要とする家庭の背景と理解について	松浦洋栄 (助産師)
6		事例検討／講座のふりかえり	今橋千晶 (子ども情報研究センター理事)

【フォローアップ講座プログラム】

	日	講座テーマ	講師
1	2/29	訪問支援の実際	高岩 薫 (他市訪問支援員)
2	3/4	子育て支援、虐待防止のために地域に求められること	石田雅弘 (児童虐待防止協会理事)

### ③里親研修

【概要】・大阪市からの委託事業

- ・要保護児童が急増する中で、家庭での養育が困難な子どもの受け皿として、最も家庭環境に近い里親委託を推進し、里親制度の普及と里親開拓を進めるという大阪市の施策。

【実施事業】基礎研修 6/7(日)、8/9(日)、10/4(日)、1/11(月祝)

認定前研修Ⅰ7/5(日)9/6(日)10/25(日)1/31(日)Ⅱ7/12(日)9/20(日)11/3(祝)2/7(日)

更新研修として、9/20(日)1/31(日)に1人受講 実習コーディネート 随時

【基礎研修】参加者計42組82人

時間	研修内容	講師	会場
13:00	挨拶とオリエンテーション	公益社団法人 子ども情報研究センター	HRC ビル
13:15 15:00	里親制度の基礎 ～現状と保護を要する子どもの理解について～	津崎哲郎さん NPO 法人児童虐待防止協会	
15:15 16:45	子どもとの生活を描いてみよう ～子どもの発達と事故防止～ ○グループ討議 質疑応答 レポート (17:30 終了予定)	公益社団法人 子ども情報研究センター	

【認定前研修Ⅰ・Ⅱ】参加者計Ⅰ：27組58人Ⅱ：32組65人

時間	認定前研修Ⅰの内容	講師	会場
10:30 12:00	子どもの健康と生活 ～社会的擁護の子どもと家族に寄り添うために～	1回目 4回目 石塚かおるさん「つばさ園」園長 2回目 3回目 側垣一也さん「ひかり保育園」園長	HRC ビル
13:00 16:00	里親養育上の様々な課題 ・実親とのかかわり、真実告知、ルーツ探し ・里親への支援などについて ○グループ討議 質疑応答 レポート (17:00 終了予定)	岩崎美枝子さん 公益社団法人家庭養護促進協会 理事	
認定前研修Ⅱの内容			
13:00 14:30	○里親制度の基礎Ⅱ (里親が行う養育に関する最低基準について) ○里親養育の基本 (子どもとのマッチングから受託解除まで) ○関係機関との連携	中村みどりさん NPO 法人キアアセット CVV	HRC ビル
14:40 15:50	児童の権利擁護と事故防止 ○子どもの最善の利益 ○子どもとのかかわり 子どもの自尊感情を高める ○グループ討議	公益社団法人 子ども情報研究センター	
16:00 17:00	里親会活動 先輩里親の体験談 質疑応答 レポート (17:30 終了予定)	大阪市里親会より	

【実習プログラム】参加者計28組35人

	施設の見学 ○施設長による説明 ○館内見学	児童養護施設・乳児院 里親支援専門相談員	各施設
	子どもとのふれあい (おやつ、宿題、遊びなどを通して)	里親支援専門相談員	各施設

### ④第30回人権啓発研究集会への参加

日程：2/4(水)、5(木)

会場：大阪国際会議場

## 6. 子どもの権利に関する国際交流

【概要】アジア各国の厳しい現実とかかわる人々の活動を、日本の保育・教育の現場で広く活かすために、相互に子どもの人権保障の取り組みの現状と課題を出しあう講座や情報交換会を開催する。

【対象者】保育・教育に関わり、関心のある方

【目的】アジア各国の厳しい現実とかかわる人々の活動を、日本の保育・教育の現場で広く活かすために、互いに学びあい、豊かな人権感覚を身につける。

【2015年度の目標】カンボジアとタイの子どもの現状から学ぶ。

【実施事業】講演会の開催

テーマ：「タイとラオス、カンボジアの子どもの教育支援 20年を見つめて」

日時：7/9（木）10：00～12：00

会場：HRCビル4階第1研修室

参加人数：7人

## 7. 子どもの保育

【概要】保育所を開設し、0歳からの子どもたちとともに居場所をつくる。人権保育の内容創造に向けて議論を積み重ね、どの子どもも差別なくすこやかに育つことを願って活動を展開していく。

2016年4月1日「大阪市小規模保育所 はらっぱ舎 AIAI」開設、

2017年4月1日「大阪市認可保育所 はらっぱ舎(仮)」開設予定

【目的】保育の多様化が際限なく広がる今、子どもの人権を大切に、子どもたちがともに育ちあう地域をめざして実践し議論する場づくりを目指す。

大切にしたいこと      子どもの気持ち～泣いてもいい、怒ってもいい  
子どもが決める～選んでもいい、違ってもいい  
子どもにまなぶ～しなやかなところとからだ  
子どもとつくる～出会いのある地域と暮らし

【実施事業】会員「おしゃべり会」の開催：6/26（金）、7/31（金）、8/28（金）、12/1（火）

「大阪市小規模保育所 はらっぱ舎 AIAI」7月運営予定者として選定される

9/30（水） HRCビル事業者向け説明会      10/28（水） 工事業者入札

10/4（日）、9（金） 職員募集説明会      11/24（火） 工事開始

3/17（木） 入園者説明会

3/28（月） はらっぱ舎 AIAI お祝い会

・12月「大阪市認可保育所 はらっぱ舎(仮)」運営予定者として選定される

・3/23「子どもの保育」が公益認定の基準に適合する旨、大阪府公益認定等委員会より答申

・3/29 土地 188,29 m<sup>2</sup>（大阪市港区市岡元町2丁目5番地）を購入

## ■ 収益事業

### 1. 保育担い手養成、派遣事業

#### （1）保育者（保育担い手）派遣

【概要】行政、女性協会、子育て支援団体等から、一時保育の依頼があった際、保育者（保育担い手）

を派遣し、そこに参加する子どもとともに、「子どもの人権」を大切にする保育を実施する。

**【2015 年度の目標】** 事務経費などを捻出し、ももぐみ保育がスムーズにおこなえるように、収益を確保する。ももぐみの組織としての形を整える。

**【実施事業】**・「保育担い手」の派遣 延べ 157 件

・主な派遣依頼者一覧（順不同）

大阪市教育委員会事務局生涯学習担当、大阪市教育振興公社、大阪市教職員組合、大阪市立総合生涯学習センター、大阪市立大学女性研究者支援室、大阪府教職員組合、大阪マイツリー、カウンセリングスペースリヴ、関西リーブス、北河内地区教職員組合、公益財団法人さと鳥取定住機構、子どもシェルターぬつく、堺 MY TREE、SAKAI 子育てトライアングル、自治労大阪府本部、大東市子ども室家庭支援室、大東市子ども室家庭児童相談室、大東市子ども室子ども支援グループ、大東市生活安全課、中央区 PTA 協議会、つどいの広場「こっこさん」、日本物理学会、ハミングバード、守口市教職員組合、関西動物看護教育研究会、大阪市教育委員会、大阪市中央区役所市民協働課、日本 NPO センター、北河内地区教職員組合、NPO 法人多言語広場 CELULAS（セルラス）等

## （２）保育担い手育成講座

**【概要】**「子どもの人権」を大切にする保育の理念を広め、実際に保育を担う担い手を養成する。

**【2015 年度の目標】** ももぐみ保育が円滑におこなわれるために担い手を増員する。

**【実施事業】** 下記の通り 参加人数：10 人

日 時		内 容	講 師
4 月 21 日 (火)	13:00～14:30	子どもの人権について ～ひとりひとりが安心できる場に～	田中文字子 (子ども情報研究センター理事)
	14:50～16:20	子どもとともに過ごす『保育』の実際 ～保育担い手の声を聴こう～	合田由紀子 (保育部ももぐみ)
4 月 28 日 (火)	13:00～14:30	事例検討 ～泣く・おもちゃの取り合いなど～	内山洋子 (保育部ももぐみ)
	14:50～16:20	みんなでつくる安心と安全 ～場づくり・関係づくり～	奥村仁美 (SAKAI 子育てトライアングル)

## 2. 書籍の編集業務受託

### （１）自治労の保育運動編集委託

**【概要】**自治労中央本部からの委託で、『自治労の保育運動』（年 2 回発行）の編集業務をおこなう。

**【実施事業】**・第 32 号（7 月発行）

・第 33 号（11 月発行）

## 3. 子どもの権利条約教材作成

**【概要】**当センター開発「子どもの権利スタンプラリー」等を活用し、子どもの権利条約普及のための事業をおこなう。

**【実施事業】**・子どもの権利スタンプラリーの実施

・実施件数：7 件

・参加人数：子ども：231 人、おとな 135 人 ※公立小学校の授業での実施含む

以上